

7月3日：新規投資家の買いが下支え

金曜日は、コロナ・パンデミックによる市場の混乱の中で、底値買いを模索していた新規投資家による下支えもあってベトナム市場は上昇した。

ホーチミン市場のベンチマークであるVN指数は0.62%上昇し、847.61ポイントで引けた。木曜日は同指数は0.13%安の842.38ポイントで引けていた。出来高は2億3百万株、売買代金は3.6兆ドンだった。

BIDV証券では、市場の流動性は減少しているが、勢いは継続しており週末を前に楽観的な見方が広がっている。VN指数は来週は840-860ポイントのレンジで推移すると見ている。

VSD(ベトナム証券保管機構)によれば、6月の国内投資家の新規口座開設件数は35,000口座だった。国内の新規証券口座開設件数は、4か月連続で一月当たり30,000件を超えた。過去4か月で、国内投資家の新規口座開設件数は137,800件に上り、2019年の新規口座開設件数の73%に相当する。

VSDは、コロナ禍の市場の混乱の中で株式が投げ売りされ市場が下落すると同時に、投資機会と見た新たな投資家を引き付けていたと見ている。

大型株も市場を下支えし、大型優良株で構成するVN30指数は0.54%上昇し、7989.87ポイントで引けた。

VN30指数構成銘柄のうち18社が上昇し、7社は下落した。

大型株ではVHM(+1.2%)、VRE(1.1%)、VNM(+1%)、HDB(+5.3%)などの上昇が目立った。

ベトナム最大のビールメーカーであるサベコ(SAB)は、政府がSCIC(国家資本投資会社)に株式を放出するという情報が出ると4.9%上昇した。

政府は保有するSAB株式の36%を、8月31日を期限にSCICへ移管する予定である。

反対に、BVH、GAS、HPG、MWG、PNJ、VPBなどは勢いに乏しく下落した。

ハノイ取引所では、HNX指数が0.05%下落し111.55ポイントで引けた。

出来高は 3,400 万株超、売買代金は 3,660 億ドンだった。

国内の金価格は上昇し、1 タエル (1.2 オンス) 5,000 万ドン (2,168 米ドル) となった。サイゴン・ゴールド・ジュエリーでは、1 タエルあたり買値を 4,948 万ドン、売値を 4,987 万ドンと提示し、前日比でそれぞれ 8 万ドン、32 万ドンほど高い。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。